

美しい日本を伝えたい

平成27年建国記念の日奉祝式典

日本誕生 皇紀2675年

建国を祝う集い

遠く建国の古(いにしえ)を偲び、先人の偉業に心から感謝を捧げるとともに、国と郷土を愛する心を養う一助になればと願い、本年も建国を祝う集いを開催いたします。

ジャパニカル・ネット・サンス

～日本が輝きを取り戻す時～

講師

竹田恒泰氏〔作家〕

昭和50年、旧皇族・竹田宮家に生まれる。明治天皇の玄孫にあたる。「たかじんのそこまで言って委員会」でおなじみ。笑いがいっぱい、日本が好きになる楽しい講演です。



日時

平成27年

2月11日(水・祝)

午後1時～4時(受付12時～)

場所

広島国際会議場 フェニックスホール

広島市中区中島町1-5 TEL.082-242-7777

オープニング

広島文教女子大学附属高等学校
和太鼓部「文教太鼓 葵」



参加チケット

前売で完売の場合、当日券の販売は行いません。なるべく前売でお求めください。

前売 1,200円

当日 1,800円

学生無料

整理券要、事務局までお申し込みください。入場時に学生証の提示をお願いします。

後援／広島商工会議所
広島県商工会連合会
広島青年会議所

協力／広島竹田研究会

【チケット販売所】

■エディオン広島本店 本館8Fプレイガイド

■チケットぴあ **PCコード 628-013**
店舗／アルパーク天満屋、廣文館 金座街本店
福屋広島駅前店ほか

■全国のサークルKサンクス
■全国のセブンイレブン

※発券手数料108円が必要です

メール・FAXでも受付中(1月31日まで)
氏名、枚数、郵送先、電話番号を送信ください。
メール kenkoku@jp-pride.com
FAX 082-831-6206

まほろば素読教室〔10:20～12:20〕

～美しい日本語を読んで
豊かな心を育てよう!～

幼児・小学生を主な対象に、偉人の言葉を素読して、楽しく学びます。



参加費：1,300円/人 (家族割引・学生割引あり)

素読教室へのお問合せ TEL090-5375-6843
メール hiroshima@mahoroba-ed.org

要・事前WEB申込

協力／広島まほろば学習会

ボランティアスタッフ募集

受付や案内係など、当日運営のお手伝いをしていただける方はお気軽にお問合せ下さい。(高校生以上の方大歓迎) TEL082-831-6205



竹田恒泰 著

『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』より

ジャパン・ルネッサンス

日本文明復興

残念ながら今、かつての日本を評価する時代である。学校ではこどもたちに建国の歴史すら教えない。それどころか、学校では国の象徴である天皇や、日本人の精神的な基盤である神話についても、まったく扱わない。かつてアーノルド・トインビーは「十二、三歳くらいまでに民族の神話を学ばなかった民族は、例外なく滅んでいる」と書いた。民族を滅亡させるには軍隊は必要ない。ただ神話を教えないければ、それだけで必ず滅ぶのだ。日本は戦後まさにその道を歩んできた。

●僕らの時代

我が国は二千年以上王朝の交代がなかった。世界に現存する国家のなかで最古の国家といえる。今は失わ

れてしまった日本文明を取り戻したとき、日本はかつての輝きを取り戻すだろう。

米国出身の温泉旅館の女将が「ニッポン人には、日本が足りない」といつて有名になったが、日本の良さを認識しているのは、むしろ日本人でなく異邦人なのかもしれない。現代日本人には日本文明が足りない。日本文明の重要性を再認識しこれを復興することによってのみ、美しい日本の姿を甦らせることができる。私は考える。

かつて欧州で古典文化復興の動きが起こり、文化芸術の復興だけでなく、社会が大きく変革したことがあった。「ルネッサンス」である。日本人が立ち返るべきは戦前や古代ではなく、縄文時代以降、悠久の歴史のなかで積み上げられた日本文明が

その頂点を極めた維新前夜ではなからうか。日本人が維新前夜に立ち戻り、当時の気概を取り戻すことが「日本文明復興——ジャパン・ルネッサンス」なのである。

具体的には、若い世代が日本を学び実体験することが肝要だ。子供や若者には、英語を学ぶ時間があれば正しい日本語を学んでもらいたいし、異国を旅するのもよいが、むしろ日本列島を隈なく旅してほしいものだ。日本の若者が日本民族の神話と日本建国の歴史を学び、伊勢の神宮を参拝して、歌会始に和歌を詠進するなどして、日本の価値観を共有したとき、確かに日本は本来の姿を取り戻すだろう。

もちろん、かつての日本文明をそのまま現在に再生することはできない。だが、若者が中心になって日本の魅力を再発見することで、これまでの近代合理主義の価値観が日本の価値観に変われば、十年後の日本はまったく別のものになると信じる。幸い、近年は若年層で日本的なものに人気があるという。これを一つの流行に終わらせず、日本文明復興の基礎を整えれば、将来の日本はきっと魅力的な国になるだろう。僕らの時代はまだ始まったばかりだ。

なぜ2月11日が建国記念の日？ 建国の理想「八紘一宇」とは

2670年以上前に、初代神武天皇が橿原の地(今の奈良県)で即位されたと伝えられる日だからです。「国民の祝日に関する法律」には「建国をしのび、国を愛する心を養う」日と記されています。『日本書紀』に、神武天皇が橿原宮で即位されるにあたって、次のように詔されたことがあります。

今、天皇として即位するにあたり、国民を平安にし、天照大御神が国をお授けになった徳に答え、皇孫(ニニギの尊)の正しい精神を普及させたい。そして天下がまるで一つの家のような温かい結びつきを実現させたい。

「天下がまるで一つの家のように(八紘一宇)」というのが、神武建国の理想なのです。史実であったかどうかが問題なのではなく、古代の日本人が、国家や天皇についてこのような理想を持っていたということが重要なのです。

八紘一宇について、アメリカのエール大学のパール・S・ピース博士はその著『日本古典の精神』で、「人類は五千年の歴史と、2度の世界大戦の惨禍を経験した結果、『一つの世界』を理想とする国連憲章を結んだが、日本の建国者は、二千年も前の建国当初に、世界一家の思想を述べている。これは人類史上注目すべき発言であろう」と。